

北海道浮魚ニュース

令和4(2022)年度9号

2022年7月29日

道総研 函館水産試験場

【URL】 http://www.hro.or.jp/list/fisheries/research/kushiro/section/zoushoku/ukiuo_news.html

◎第2回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

7月29日、第2回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されましたので概要をお知らせします。今回は日本海全域を対象とした漁期後半(8月~12月)の予報です。

なお、この予報は水産研究・教育機構と日本海側道府県水産研究機関が参画し、国立研究開発法人 水産研究・教育機構がとりまとめを行いました。詳細は以下のホームページからご覧いただけます。

水産研究・教育機構 (<http://www.fra.affrc.go.jp/pressrelease>)

「我が国周辺の水産資源の現状を知るために」 (<http://abchan.fra.go.jp/>)

今後の見通し (2022年8月~12月)

対象魚種：スルメイカ

対象海域：日本海(道北・道央、道南・津軽、本州北部日本海、西部日本海、沖合域)

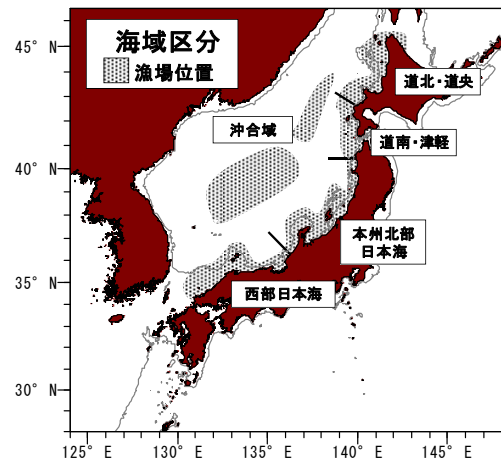
対象漁業：主にいか釣り漁業・小型いか釣り漁業

対象魚群：秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む

- ・今期の日本海全体の来遊量は前年および近年平均を下回る。
- ・道央・道北では前年並で近年平均を下回る。
- ・道南・津軽では前年並で近年平均を下回る。
- ・本州北部日本海では前年並で近年平均を下回る。
- ・西部日本海では前年を下回り、近年平均並。
- ・沖合域では前年および近年平均を下回る。

※近年は最近5年間(2017~2021年)

※道北・道央海域は8月~9月を対象とする。



- ・6月中旬~7月上旬に実施された日本海スルメイカ漁場一斉調査(函館水試調査分は浮魚ニュース第6号を参照)では日本海全体の来遊量の目安となる全調査点の平均CPUE(釣機1台1時間あたりの採取尾数)は2.05尾となり、前年(5.43尾)および近年平均(9.84尾)を下回り、過去最低であった1986年(2.76尾)も下回りました。
- ・日本海スルメイカ漁場一斉調査での外套背長のモードは15cm台にあり、前年および近年平均よりも小さい傾向にありました。
- ・生鮮スルメイカの漁獲量は5月~6月は本州北部日本海で前年を上回りました。また、2019年以降、主に石川県以北の底びき網漁業でのスルメイカの漁獲が増加傾向にあります。

(函館水産試験場調査研究部、TEL: 0138-83-2893、FAX: 0138-83-2849)